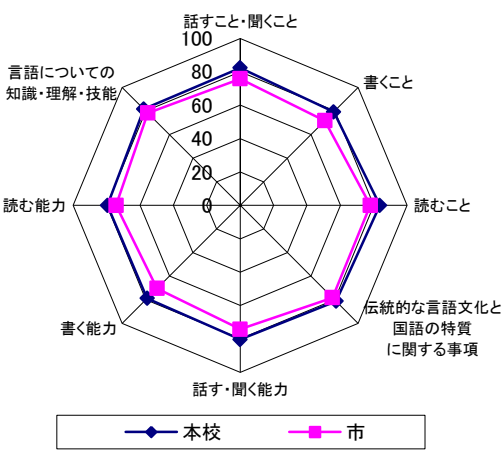


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	82.4	75.9	71.7
	書くこと	79.3	71.8	73.2
	読むこと	83.7	78.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	81.2	78.2	79.4
観点別	話す・聞く能力	80.3	74.2	70.8
	書く能力	78.8	70.4	71.0
	読む能力	79.5	74.3	75.0
	言語についての知識・理解・技能	81.6	78.2	79.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は市の平均を5.7ポイント上回っており、学習内容は概ね身についているといえる。 ○全項目で市の平均正答率を上回った。 ●「司会者の役割を理解して、計画的に話し合うことができるか」の設問では、正答率が61.7%で、話し合いのテーマに合った発言を、適切な言葉づかいで記述することに課題が残る。	・計画的な話し合いができるよう、話し合いの始めに、司会者の役割を十分に理解させる。小グループでの話し合いの機会を増やし、司会者の役割等を理解させたり、しっかり相手の話を聞くことで、話のテーマに合った発言ができるようにしていく。 ・朝の会や帰りの会等を活用し、司会者の意識を高めるようにしていく。
書くこと	平均正答率は市の平均を7.5ポイント上回っており、学習内容は概ね身についているといえる。 ○指定された長さで文章を書く設問では、市の平均を11.7ポイント上回った。 ○2段落構成で文章を書く設問では92.2%が正しく解答し、市の平均を12.4%上回った。 ●与えられた情報を読み取り、話し合いの内容をふまえて必要な情報を書き足す設問に課題が残る。	・指定された長さで文章を書くことについては、これまでの指導の成果が表れているため、今後も継続して指導していきたい。 ・文章を書く際には、構成メモや下書きをする習慣を身につけさせたり、内容や順序を考えてから書き出したりすることができるようにしていく。 ・学校行事などの折に、感想等を書く機会や読み合う場を増やし、書くことの楽しさを味わわせていくとともに、自分で文章の加除訂正ができるように指導していく。
読むこと	平均正答率は市の平均を5.7ポイント上回っており、学習内容は概ね身についているといえる。 ○物語の内容を読み取る設問では、全ての項目で、市の平均正答率を上回っており、学習内容の定着がみられる。 ●登場人物の心情を読み取ることは、正答率が56.7%と課題がみられた。 ○説明文の内容を読み取る設問では、全ての項目で、市の平均正答率を上回っており、学習内容の定着がみられる。	・物語文に対して、興味を示す児童が多く、図書室や読み聞かせ等、今後も継続して物語文に身近に触れる環境をつくる。 ・物語文教材では、登場人物の心情変化について文章に即して読み取れるように指導していく。 ・段落相互の関係に目を向けた読み方の習熟を図り、読み取る力が身につくようにしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は市の平均を3.0ポイント上回っており、学習内容は概ね身についているといえる。 ○三字の熟語の構成についての設問の正答率が94.4%で、市の平均を13.1ポイント上回った。 ●第5学年配当漢字を書く設問で、やや市の平均を下回るものもあり、課題がみられた。	・漢字や言語の習得については、個人差が大きいので、個々に応じたきめ細やかな指導を行っていく。 ・学校での学習に加え、漢字ドリルを効果的に活用し、繰り返し学習の充実を図る。